

# 令和6年度 岡崎市シビックセンター事業報告書

公の施設名称	岡崎市シビックセンター
施設の所在地	岡崎市羽根町字貴登野15番地
指定管理者	名称：SPS・トエネック・ピート・ピート共同事業体 所在地：東京都江東区豊洲3-2-4 豊洲フォレシア 16F 代表者：サントリーパブリシティサービス株式会社 代表取締役 千大輔
指定期間	令和6年4月1日～令和10年3月31日

## 1 事業の実施状況

### (1) 実施状況

#### ①音楽を中心とする芸術文化の振興に関すること

##### ア. 鑑賞型事業

No.	事業名	実施日	入場料金	入場者数	演奏曲目等
1	エキサイティングステージ 沖仁×大萩康司×小沼ようすけ TRES	4月21日(日)	一般4,000 学生2,000	402	スタンリー・マイヤーズ：カヴァティエーナ ホアキン・ロドリーゴ：アランフェス協奏曲より(TRES ver.) ローラン・ディアンス：タンゴ・アン・スカイ ほか
2	プレミアムコンサートシリーズ 林美智子&横山幸雄 デュオ・リサイタル	5月25日(土)	一般4,000 学生2,000	278	横山幸雄：ノスタルジアファンタジー、山田耕筰：この道、岡野貞一：朧月夜、ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調「月光」Op. 27-2、ビゼー：歌劇『カルメン』より「ハバネラ」、ショパン：バラード 第1番 ト短調 Op. 23 ほか
3	クローズアップおかげさ アンサンブル天下統一2024	6月9日(日)	一般3,500 学生2,000	403	エネスク：オーバード(朝の歌) ベートーヴェン：弦楽三重奏曲 二長調 Op. 9-2 ブラームス：ピアノ四重奏曲 第3番 ハ短調 Op. 60
4	プレミアムコンサートシリーズ ダン・タイ・ソン ピアノ・リサイタル	6月30日(日)	一般5,000 学生2,000	406	フォーレ：夜想曲 第1番 変ホ短調 Op. 33-1、舟歌 第1番 イ短調 Op. 26、ドビュッシー：2つのアラベスク、マスク、子 供の領分、ショパン：舟歌 嬰ヘ長調 Op. 60、夜想曲 第21 番 ハ短調 KK. IVb/8、スケルツォ 第2番 変ロ短調 Op. 31 ほか
5	こどものためのシリーズ 音楽の絵本 ダンディズム	8月25日(日)	おとな2,500 こども1,000	409	ショパン：幻想即興曲、フレデリック・ロウ：踊り明かそう、 ディズニー名曲メドレー、ポーランド民謡：森へ行きましょ う、文部省唱歌：こぎつね、フレディ・モーガン&ノーマン・ マルキン：5匹のこぶたとチャールストン ほか
6	コロネット ベスト・クラシック 牛田智大 室内楽プロジェクト 「六重奏で聴くショパン・ピアノ協奏曲」	10月14日(月)	一般5,000 学生2,000	400	ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調Op.11、ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調Op.21
7	コロネット ベスト・クラシック 上野耕平 & 阪田知樹 デュオ・リサイタル	11月16日(土)	一般3,500 学生2,000	386	フォーレ：シンシエンヌ、ミヨー：スカラムーシュ、フランセ：5 つの異国風舞曲、阪田知樹：アルト・サクソフォーンとピ アノのためのソナチネ ほか
8	クローズアップおかげさ アンサンブル天下統一 ゴルトベルク変奏曲	12月8日(日)	一般3,500 学生2,000	381	モーツァルト：アヴェ・ヴェルム・コルプス K. 618、 J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲 二長調 BWV988
9	コロネットキャラバン隊 シビック出張コンサート	9月6日(金)	無料	48	稲本 響：NHK大河ドラマ「どうする家康」メインテーマ～暁 の空～(弦楽四重奏版)、バッハ：カンノン、ハイデン： 弦楽四重奏曲 第67番「ひばり」二長調より ほか
10	コロネットキャラバン隊 森岡有裕子&永田美穂 in 常磐東小学校	2月17日(月)	無料	45	F.J.ゴセック：タンブーラン、B.バルトーク：ハンガリー農民 組曲より「古いダンス」、Ch-W.グリック：精霊の踊り ほか

## イ. 参加創造型事業

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容	
1	アンサンブル天下統一 アンサンブル・アカデミー	マスタークラス	8月7日(水)～12日(月祝)	¥40,000	41	レジデント・アンサンブルであるプロのアーティスト「アンサンブル天下統一」から指導を受け、一緒に演奏をするアンサンブルに特化したマスタークラスを実施した。最終日には、成果発表のコンサートを行い、市民の方々に弦楽アンサンブルの醍醐味を味わっていただいた。
		岡崎市在住・在学・在勤者限定ワークショップ	8月10日(土)	¥2,000	4	市内在住・在学・在勤者にアンサンブルの楽しさを体感いただくワークショップを実施。ヴァイオリンとピアノで計4組の方が参加した。参加者は、講師からの手ほどきを受け、ホールのステージで共演するなど濃密な時間を過ごした。
		アンサンブル・アカデミーコンサート	8月12日(月祝)	一般1,000 学生500	191	5日間のマスタークラスを受講した受講生による成果発表のコンサートを実施した。
2	体験！発見！こども力応援プロジェクト ジュニア・アートプロデューサー	7月～11月	無料	7	小学5～中学2年生の子どもたちが、コンサート制作に関する様々な経験を積み、コンサートをつくりあげる事業。互いに話し合いながら、コンサートのテーマ決めやターゲットの設定、選曲、チラシ作成、広報活動(記者発表)など幅広い業務を体験し、自分たちでアイデアを出し合った企画をまとめ上げた。今年度は、出演者全員に活動サポーターを依頼し、音楽ワークショップも実施。出演者と参加者の距離が近づいたことで、参加者のアイデアをコンサートにダイレクトに反映させることができた。	
	とびだせ！音楽のびっく箱 ～最高のフクワクとドキドキを！～	11月30日(土)	小学生以上 500	322	「お客様の期待を超えるコンサートをつくる」という目標のもとジュニア・アートプロデューサーたちが様々な準備をすすめてきたコンサートを実施。公演のタイトル通り、サプライズや仕掛けがふんだんに盛り込まれた演奏会となった。過去の参加者に演奏に参加してもらい、終演後に交流する機会をつくるなど、幅広い年代の子どもたちがお互いに刺激し合える事業となった。	

## ウ. 地元音楽家支援・育成事業

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
1	次世代育成プロジェクト 未来の音楽家シリーズ 小島万里奈 presents ロビーコンサート ～歌とチェロが運ぶ春の訪れ～	3月27日(木)	無料	200	地元の将来有望な若手演奏家の育成と支援を目的に演奏活動の場所を提供するほか、企画、制作にも携わり今後の活動に活かしてもらう事業。選考により決定した岡崎市在住の若手演奏家によるロビーコンサートを実施。来館者に気軽に音楽を楽しんでいただけたよう、聴き馴染みのある春の歌やオペラアリアなどをチェロの伴奏でお届けした。

## ②コロネット市民音楽フェスティバル

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
1	コロネット市民音楽フェスティバル2024	9月14日(土) ～16日(月祝)、 18日(水)	ハーモニカは無料、ハーモニカ以外は¥1,000上限	参加団体 4 入場者 695	岡崎市を中心に活動する4つの音楽団体に、それぞれコンサートホールでの発表の機会の提供と、各団体の希望や公演内容に沿った制作支援を行った。ピアノ・ソロ、ピアノ連弾、ヴァイオリンとピアノのデュオ、ハーモニカの各団体が工夫を凝らした演奏会を開催した。

## ③その他提案事業

### ■ユニークベニュー×シビックセンタープロジェクト

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
1	ユニークベニュー×シビックセンタープロジェクト シビック出張コンサート	9月7日(土)	無料	66	徳川家康公ゆかりの地である大樹寺を会場にコンサートを実施。会場の歴史的背景や雰囲気にあわせ、岡崎や徳川家康、江戸時代と関連つけたプログラムやトークの内容に工夫を凝らして行った。市民と文化芸術の接点を拡げるとともに、観光目的でお寺にいらした方の入場も柔軟に受け入れ、市の観光振興にも寄与した。

## ■防災関連事業

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
1	コロネット 防災コンサート	9月12日(木)	無料	215	防災講座付きのコンサートを実施した。前半は岡崎市防災課の協力のもと水害に関する講座を、後半は愛知県警察音楽隊によるコンサートを実施した。講座では、矢作川の歴史や地球温暖化など市民にとって身近な題材を基にして災害に対する心構えを説き、参加者の防災意識を高めることに寄与した。

## ■まちなかコンサート

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
1	まちなかコンサート シビックエキナカコンサート ストリートピアノ de クラシック	4月27日(土)	無料	のべ100	出演者にシビックセンターにゆかりのあるピアニスト小野田知華を起用し、多くの方に耳馴染みのあるクラシック曲を演奏した。フルツの睡き比べや、リズムの違いを楽しんでいただくなど様々な切り口でクラシック音楽を楽しんでいただけるよう、プログラムに工夫を凝らした。
2	まちなかコンサート シビックエキナカコンサート ストリートピアノ de 連弾	7月26日(金)	無料	のべ100	出演者にシビックセンターにゆかりのあるピアノデュオ「デュオ・ミスコーレ」を起用し、シビックエキナカコンサート初となるピアノ連弾のコンサートを実施した。連弾ならではの目を引く超絶技巧の作品をはじめ、誰もが耳馴染みのある曲など全7曲を演奏し、岡崎駅に設置されたストリートピアノの活用をはかった。
3	まちなかコンサート シビックエキナカコンサート	10月26日(土)	無料	のべ120	出演者にアンサンブル・アカデミー受講生を含む、ヴァイオリン・ヴィオラ・ピアノのトリオを擁したコンサートを実施。幅広い市民が楽しめるよう、ジブリ音楽からクラシックまでの多彩なプログラムをお届けした。

## (2) 交流広場等を利用した地域のまちづくり支援に関する業務

### ①南部ふれあい祭り（旧シビックセンター夏祭り）

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
1	第21回 南部ふれあい祭り (旧シビックセンター夏祭り)	7月20日(土) 7月21日(日)	無料	15,000	主催である地区の総代会及び地元有志による実行委員会と連携しながら、岡崎市南部地区最大級の夏祭りを開催した。シビックセンターは事務局として、企画面のサポートと祭りに関わる人や団体との調整役を担い、地域の賑わいづくりに貢献した。

### ②交流広場事業

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
1	秋の広場事業 シビックドリームランド	10月26日(土)	無料 (一部イベント 有料)	1800	様々な音楽やステージパフォーマンスを楽しんでいただく鑑賞・体験イベントとして実施。ステージイベントと多彩なワークショップを行い、多くの親子連れの来場を促すことができた。また、季節に合わせた街歩きイベントや出合いの杜公園でのイベントと同日開催することで、地元の商店会と一緒に地域全体を盛り上げることができた。
2	冬の広場事業 シビッククリスマス2024	12月21日(土)	無料 (一部イベント 有料)	1,430	シビックセンター全館を使い、クリスマスをテーマにしたイベントを開催した。特設ステージとホール、ロビーでは、ジャズライブやパーカッションのコンサート、ワークショップを実施。各階にはクリスマスに因んだ工作コーナーやプラネタリウム、ジャンボフラワーやバルーンアートのフォトスポットを設けた。1階の音楽情報コーナーには市内の幼稚園と高校美術部生徒の合作によるアート作品を掲出し、幅広い年代の来場者が楽しめる内容で、工事休館前の最後の事業を行うことができた。

### ③イルミネーションの設置

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
1	イルミネーション	11月15日(金)~ 1月9日(木)	無料		家康公生誕月間に合わせて、音楽をモチーフにしたイルミネーションを実施。今年は、葵の御紋をあしらった造形物を設置した。

### ④花植え事業

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
6	花植え	5月19日(日) 9月29日(日) 11月9日(土)	無料	5月 8名 9月 15名 11月 18名	5月、9月、11月の計3回、羽根北地区の方と一緒に季節の花の植替えを行った。9月は子どもたちの参加も見られ、花植えの後にミニゲームで交流するなど地域コミュニティの活性化に寄与した。11月は、広場に植えられていたゴールドクレストを活用したクリスマススワッグづくりワークショップを行い、地域の方々との交流を深めた。

### ⑤ディスプレイの実施

No.	展示テーマ	日程	事業内容
1	窓口ガラスアート×折り紙	12月13日～12月24日	音楽情報コーナーの窓ガラスに、絵は岡崎城西高校美術部が、折り紙はめぐみ幼稚園年長児が担当し、タイトル「星のおくりもの」にて一つの作品として制作。折り紙で作った星を絵の一部として使用するなど、クリスマスを彩る躍動的で立体感のあるアート作品(縦2.5m×横5.8m)となった。
2	クリスマススワッグをつくらう	11月28日～12月20日	交流広場に植えられていた「ゴールドクレスト」をお客様に再利用していただくため、切り落とした枝を束ねてクリスマス飾りをつくるワークショップの場をロビーに設置した。実施にあたっては、地元の「南天荘」から助言をいただいた。

#### (1) 事業実施に対する自己評価

令和6年度の鑑賞型事業は、第4期の事業計画書に基づき、市民と芸術文化の接点の充実を図るべく10事業を実施した。岡崎市民を中心とした幅広い年代の方が、質の高い音楽を楽しむ機会や、感動体験を共有できるような機会など、多彩なジャンルにて提供した。また、複数の公演をリーズナブルな価格で楽しめるセット券の販売や会員限定の事業を展開し、コロネット・ホールのファンの支持層の拡大と囲い込みに力を注いだ。また、今まで沢山のの方々から愛されてきたコロネットの響きや名演の数々を多くの人々の記憶に残していただくため、スタッフ全員で積極的に券売活動を展開し、ホールで開催した8つの鑑賞公演のうち7公演のチケットを完売することができた。企画と実施、広報と券売、事業全般に大きな成果を得た1年となった。

参加創造型事業では、「アンサンブル天下統一」によるアンサンブル・アカデミーの他、地域の小・中学生がコンサートの企画・制作にチャレンジするジュニア・アートプロデューサーなどを開催。プロの演奏に触れながら、岡崎にて次世代のアーティストや文化の担い手としての興味を持ってもらえるよう、事業を進化させながら展開した。

交流広場等を利用した地域のまちづくり支援に関する事業では、地域の活動団体との連携強化を推進し、南部ふれあい祭りやシビックドリームランドなど、地元の市民の

方々と共にJR岡崎駅からシビックセンターまでのエリアに多くの人を呼び込む企画を実施した。また、シビック・クリスマスや花植え事業など、地元の幅広い世代が季節感を味わいながら親子で交流できる機会も提供した。事業を通して地域の賑わい創出に寄与することができた。

ロビーディスプレイでは、地元高校美術部の生徒と幼稚園の年長児による合同作品の窓ガラスアートを展示した。絵と折り紙でクリスマスの夜の楽しく温かな雰囲気を楽しく表現した作品は、東玄関周辺を明るく彩り、実際のクリスマス終了期間まで多くの来館者の目を楽しませた。

1年を通して、幅広い世代の市民が文化芸術に親しむ機会を、多彩な方法で展開した。

### **音楽を中心とする芸術文化の振興に関する事業 鑑賞機会の提供**

4月に開催した「沖仁×大萩康司×小沼ようすけ TRES」では、フラメンコ、クラシック、ジャズのそれぞれの楽器の特徴を活かしたソロ、デュオ、トリオによる演奏が観客を魅了した。各ジャンルを代表するギターの名手たちが奏でる繊細で緻密な音を生音に近い状態でお客様へお届けするため、マイクのPAを最小限に留めるなど細心の調整にも努めた。終演後は拍手が鳴りやまずスタンディングオベーションが起き、演奏、ホールともに高いクオリティの公演を提供できたと実感できた。

5月に開催した「林美智子&横山幸雄デュオ・リサイタル」では、日本歌曲からオペラアリア、ショパンの有名ピアノ曲などバラエティ豊かなプログラムで、歌とピアノの魅力を存分にお楽しみいただいた。発売直後は券売に苦戦したが、出演者のメッセージ動画をSNS広告やシビックセンターの受付前で流すほか、新聞にインタビュー記事を掲載するなど、多角的かつ広範囲に事業広報を展開、目標比87%までの追い上げに成功した。

6月にはレジデント・アンサンブル「アンサンブル天下統一」の定期公演と世界的ピアニストであるダン・タイ・ソンのリサイタルを実施。「アンサンブル天下統一」定期公演は、初の完売となった。チケット販売に合わせた市政だよりでの特集記事掲載から始まり、新聞、音楽雑誌、ラジオ等のメディア露出に加え、来館者や他公演チケットの購入者への声掛けを積極的に行うなど、スタッフ一丸の取り組みで完売することができた。来場者の7割近くが岡崎市内からの観覧者であり、地元のファンをしっかりと押さえることができた公演であったことがわかる。

「ダン・タイ・ソン ピアノ・リサイタル」はチケットの発売前から高い注目を集め、先行発売を見込んだ有料会員の加入、一般発売の初日完売や追加販売の即日完売など、歴代でも1、2を争う人気公演となった。本公演を目当てに有料会員に申し込み、先行販売でチケットを購入される方が多く、セット券販売においても主催事業全体の券売を牽引する公演となった。ショパンの体現者として世界の第一線で活躍するダン・タイ・ソンの演奏に、来場者は一音一音を慈しむように聴き入っていた。

8月には、子どもと一緒に大人も楽しめる人気公演「音楽の絵本」を開催。プロの演奏家たちが動物に扮して演奏し、音楽の楽しさを会場全体で分かち合った。

10月は世界的に活躍するピアニスト牛田智大とカルテット・アマービレ、加藤雄太による「牛田智大室内楽プロジェクト 六重奏で聴くショパン・ピアノ協奏曲」を実施。ショパンコンクールのファイナルで演奏されるピアノ協奏曲第1番と第2番を六重奏用に編曲したプログラムでお届けした。ラインナップ発表の時期から反響が大きく、シビコロ会の会員獲得と後半セット券の販売を大きく牽引する公演となった。牛田智大を中心とする六重奏の重厚なハーモニーが観客を魅了し、満足度の高さが窺えた。

11月は「上野耕平&阪田知樹 デュオ・リサイタル」を実施した。クラシック界の次代を担う奏者2人がそれぞれ主役となり、各々の独奏やデュオをはじめ、阪田氏が作曲し上野氏が初演した曲の再演など、二人だからこそ奏ることができる音楽を満席のお客様にお届けした。

12月は「アンサンブル天下統一 ゴルトベルク変奏曲」を実施。ホール休館前の最後の主催公演であることを強調し、来館者へ積極的に声がけを行う等、チケット発売直後から広報活動に力を入れ券売を積み上げた。岡崎の年末の風物詩となることを目指して2022年より開催してきたが、3回目にして完売を達成し、本企画が岡崎の新たな文化として定着してきたことを実感することができた。

1月からはホール・交流広場、3月からリハーサル室の貸出休止期間に入ったため、利用可能な館内施設やアウトリーチにより音楽事業を継続した。

2月にはコロネットキャラバン隊として森岡有裕子（フルート）、永田美穂（ピアノ）による一流の演奏を、市立常磐東小学校を訪問。全校児童を対象に、普段クラシック音楽の生演奏を聴く機会が少ない子どもたちへ、楽しみながら本物の音楽に触れてもらう機会を提供した。

またキャラバン隊出演者2名によるシビコロ会員限定のアフタヌーンコンサートをリハーサル室第2で、2回公演で行った。フルートの魅力がお客様に伝わるよう、フルート曲の小品や名曲をお届けした。奏者の指使いや息遣いを感じることができる距離感での演奏が観客を魅了した。

## **参加創造型事業**

「アンサンブル天下統一 アンサンブル・アカデミー」は、8月7日～12日までの6日間で実施した。マスタークラスには例年を大きく上回る65名の応募があり、講師による書類・音源審査を経て、9つのグループと8名の個人を合わせて過去最多となる41名の若手演奏家が受講した。昨年の市内在住・在学・在勤者向けワークショップを受講し、今回のマスタークラスにステップアップした受講生も含まれている。

全受講生と講師がアンサンブルを組み、14グループがアンサンブルに特化したレッスンを受けた。アンサンブルの音楽の作り方や音楽性を講師から学ぶだけでなく、3人が最も大切にしている音楽を通じたコミュニケーションやアンサンブルの楽しさを、講師と受講生、受講生同士で共有する場となった。無料で一般公開したホールでのレッスンには連日多くの聴講者が集まり、事業が地域に根付いてきていることを感じさせた。最終日に実施した成果発表のコンサートにも前年を上回る観客が来場し好評をいただいた。また、期間中に実施した市内在住・在勤者向けワークショップには、ヴァイオリ

ン2名、ピアノ2名の合計4名が参加した。アンサンブル天下統一のメンバーとの共演により、アンサンブルの醍醐味を体感する機会を提供した。マスタークラス受講生へのヒアリングから、講師と一緒にアンサンブルを組んで演奏できる形態が好評であること、リピーターが多いことから、口コミで若手演奏家に本アカデミーの魅力が伝わっていることがわかった。

「ジュニア・アートプロデューサー」は7月から11月の期間、全8回活動した。今年度は、小学5年生～中学2年生の男女7人が参加し、活動を通してコンサート制作の様々な工程を体験した。活動サポーターと参加者同士が話し合い、企画を練り上げ、皆のアイデアが詰まったコンサートを開催した。

今年度は、4人の出演者全員に活動サポーターの役割を依頼し、事業のはじめから終わりまで活動に携わっていただいたほか、音楽ワークショップも実施した。結果、出演者と参加者の交流が促進され、お互いの距離が近づき、活動がスムーズに進んだだけでなく、参加者のアイデアをダイレクトにコンサートに反映することができた。

コンサートは、昨年度同様に有料で行ったが、300人を超える入場者があり、過去最高の入場者数を記録した。入場者アンケートでも多くの方から好評をいただいたが、企画自体を楽しみにされている方が一定数見受けられたことから、この事業が市民に定着してきていることを実感できた。

今回も参加した子どもたちの感性と想像力を育むと同時に、シビックセンターならではの価値を創出することができたと考える。

### **地元音楽家支援・育成型事業**

「次世代育成プロジェクト」は、文字通り育成の観点に立ち、複数年にわたっての活動にシフトするべく、これからシビックセンターと活動を共にする演奏家の選考を9月に行った。管楽器、弦楽器、ピアノ、声楽の分野から6名の応募があり、音源審査と面談を経て、岡崎市出身のソプラノ歌手 小島万里奈氏を選出した。

市民の皆さんに音楽を届けるため、今年度の活動を小島氏と共に計画し、小島氏の意向を汲んで、シビックセンター1階ロビーでのコンサートを3月に開催した。コンサートの構成およびプログラムの選曲に小島氏に加わっていただき、同じく岡崎市出身のチェロ奏者・窪田翔椰氏による伴奏や、春にまつわる歌やオペラアリアの演奏を取り入れた。新聞社も複数社取材に訪れ、出演者とシビックセンターの取り組みを多くの方に紹介する機会を創出することができた。

### **コロネット市民音楽フェスティバル**

9月に実施したコロネット市民音楽フェスティバルは4団体が参加した。今年も各団体の要望に丁寧かつ細やかなフォローができるように、スケジュールや進捗状況をこまめに確認しながら実施した。市民各団体が公演者となるため常に課題となる集客については、制作支援の一環で私たちより各団体を地元エフエムや新聞社に紹介することで、

メディア露出を図る仕組みを作った。各団体も今後、メディアとの繋がりを活かし活性化していくことも期待したい。

### その他提案事業（ユニークベニュー×シビックセンタープロジェクト、防災関連事業、まちなかコンサート）

今年度からの新規事業「ユニークベニュー×シビックセンタープロジェクト」を、徳川家康公と縁の深い大樹寺で9月に実施した。市が主催する「江戸のふるさと岡崎文化祭 2024」関連事業として行い、江戸時代と同時期の西洋音楽や、岡崎と関連のある楽曲でプログラムを構成した。曲が生まれた時代の西洋と東洋の歴史を比較しながら当時の岡崎の歴史に触れたり、岡崎市歌を作曲した山田耕筰の楽曲を演奏するなど、来場者に岡崎の歴史や文化の魅力を感じていただけるよう工夫をした。また、当日は観光目的で大樹寺にいらした方もコンサートを聴いていかれるなど、市の観光振興の一助ともなった。

防災関連事業は、9月に「コロネット防災コンサート」として実施した。岡崎市防災課職員による防災講座は、歴史も交えながら地元の川の氾濫や水害にまつわる内容で実施。身近な川の災害の話が中心となることで、聴講者の防災意識を高めることができた。コンサートは愛知県警察音楽隊が出演し、来場者にコロネットのホールの響きの良さを改めて体感いただいた。

まちなかコンサートは、4月、7月、10月に「シビックエキナカ♪コンサート」を実施した。3公演ともシビックセンターに縁のある演奏家を起用し、OKAZAKI STREET PIANOを活用して行った。4月はピアノ・ソロでクラシックからジャズ、ミュージカルナンバーなどを幅広く演奏、7月はピアノ連弾で観客の目を引く超絶技巧の作品や聴き馴染みのある楽曲を披露、10月はアンサンブル・アカデミーの過去の受講者を起用し、ヴァイオリンとヴィオラ、ピアノのトリオでクラシックを中心に演奏し、“エキナカ”を盛り上げた。ホール公演では見ることのない多くの子ども連れや帰宅途中の方が足を止めて演奏に聴き入っていた。

### 交流広場等を利用した地域のまちづくり支援に関する業務 南部ふれあい祭り

シビックセンター夏祭りから改称して初の開催となった「第21回 南部ふれあい祭り」は、主催である地区の総代会及び地元有志による実行委員会と連携しながら実施した。シビックセンターは事務局業務を担い、企画のサポートのほか、祭りに関わる人や地元有志による実行委員との連絡調整役をつとめた。小中学校が夏休みに入った直後の土日に開催したこともあり、盆踊りの輪にグループで参加する子どもたちの姿が見られた。2日間とも子どもから大人まで大勢の来場者があったが、例年の課題であった出店エリアの混雑緩和のためキッチンカーとテント出店の数を調整したことで、人が往来できる動線を確保することができ、事故なく祭りを催すことができた。

## **交流広場事業**

交流広場事業は、10月に「シビックドリームランド」を、12月に「シビック・クリスマス2024」を実施。

「シビックドリームランド」は、テーマパークのように小さな子どもや親子連れでも楽しめる参加型音楽イベントとして行った。広場ではアイリッシュ・ミュージックとダンスのライブや空中パフォーマンス&ジャグリングによるステージイベント、館内では音楽×美術のワークショップ、楽器づくりワークショップなどの多彩なブースを設け、子どもたちが音楽に触れる機会を幅広く提供した。また、地域のまちづくりの一環として、出合いの駅おかざきと岡崎えきまえ発展会ほかが主催する街歩きイベントと同日開催し、地元の団体と一緒に地域全体を盛り上げることができた。

「シビック・クリスマス2024」は、クリスマスを家族で楽しんでもらえるようにオーナメントやツリーをつくる工作ワークショップ、クリスマスに因んだパステル画を制作するパステルチョークアートなどのコーナーを設けたほか、岡崎ゆかりのジャズバンドによるクリスマスジャズライブ&ワークショップ、ロビーでのマリンバによるコンサート、プラネタリウム、音楽を聴いてそのイメージを自由に描く体験型ワークショップなど、幅広い世代が楽しめるプログラムを多数用意し実施した。また、館内にはジャンボフラワーやバルーンで飾り付けたフォトスポットを設置。多くの家族連れが訪れ、改修工事休館前の最後のイベントを楽しんでいた。

## **花植え事業・イルミネーションの設置**

花植え事業は5月、9月、11月に実施した。5月に行なった春の花植えは天候が心配されたが事業開始時に雨が上がり、羽根北地区から8名が参加した。9月に行なった秋の花植えには羽根北地区の子どもたちの姿も見られ、15名が参加した。子どもから大人まで地域の方が一緒になり、プランターの花の植え替えやレクリエーションの時間を通じて世代間交流を深めることができた。11月の冬の花植えでは、交流広場にあるプランターの花の植え替えのほか、鉢植えのゴールドクレストの剪定作業を羽根北地区の方々と一緒にいった。花植え後のお楽しみコーナーでは、ゴールドクレストの枝木を活用したクリスマススワッグづくりワークショップを行い、参加者との交流を深めた。

例年12月に行なってきたイルミネーションは、家康公生誕月間に合わせて11月中旬から点灯した。音楽や楽器にまつわる造形物だけでなく葵の御紋を広場内に設置し、市の主催するイベントの機運を盛り上げることに寄与した。

## **ディスプレイの実施**

ロビーディスプレイは、音楽情報コーナーを中心にダイナミックで躍動感のある「窓ガラスアート」の展示と、交流広場のゴールドクレストを活用した「クリスマススワッグづくり」を実施し、来場者に日常的にアートに触れる楽しみを提供した。

「窓ガラスアート」は、地元高校美術部の生徒と幼稚園の年長児による合同作品を展示した。絵と折り紙でクリスマスの夜の楽しく温かな雰囲気美しく表現した作品は、多くの来館者の目を楽しませた。作品に日光が当たる様子を写真に収めにいらした地域の方もいらっしゃり、思い出に残る印象深いものとなった。作品のお披露目会では、制作に携わった高校生たちが複数社のマスコミの取材に応じた。事業を通じて世代間交流の貴重な機会を創出し、大作に挑んだ高校生たちの成果を市の内外へ発信することができた。

「クリスマススワッグづくり」では、交流広場に植えられている「ゴールドクレスト」の枝を束ねてクリスマス飾りをつくるブースをロビーに設け来館者にお楽しみいただいた。

## 2 施設の利用状況

### (1) 利用状況

施設名	利用日数	利用可能日数	稼働率 (日数)	利用単位数	貸出可能 単位数	稼働率 (単位数)
コンサートホール	203	230	88.3%	501	684	73.2%
リハーサル室第1	81	289	28.0%	175	874	20.0%
リハーサル室第2	271	290	93.4%	541	877	61.7%
集会室	300	320	93.8%	588	959	61.3%
交流広場	67	359	18.7%	67	359	18.7%

### (2) 利用状況に対する自己評価

令和6年度は、1月から大規模改修工事期間となりコンサートホールの貸出しができなくなることを見据え、利用者に休館中に予定しているイベントを、改修工事前にご利用いただくよう、夏前頃からお声掛けや架電など積極的に誘致活動を実施した。その結果、1月ー12月の利用料収入は指定管理者による運営に移行されてから過去最高を記録した。

コンサートホールの利用率は88.3%と昨年(88.7%)と比較しほぼ横ばいであったが、稼働率は73.2%と昨年(72.0%)と比べ1.2ポイント上昇した。

リハーサル室第2は、昨年に引き続き、新たな教室や団体の定期利用が入り、利用率は昨年(92.2%)から1.2ポイント上回る93.4%となり、稼働率も昨年(55.9%)を大きく上回り61.7%と5.8ポイント上回った。リハーサル室第2は、ほぼ毎日稼働している状態で、空いていた枠にうまく新たな教室や団体の利用が入っている。

集会室は残念ながら利用率93.8%と昨年(95.9%)と比べ2.1ポイント下がり、稼働率に至っては61.3%と、昨年(67.0%)に対して5.7ポイント落

ち込む結果となった。月報にて報告の通り、南部市民センターの貸室に集会室利用者が流れていることが要因と考えられる。南部市民センターは生涯学習課管轄の施設だが、数年前に利用基準が緩和され、集会室と同じように広く一般にご利用いただけるようになった。営利利用や初利用でも特別な審査等なく利用することができ、利用料金も集会室より安価であるため利用者にとっては使い勝手が良い施設となっている。

リハーサル室は当初休室しない計画であったが、改修工事中の倉庫として利用することになったため、2025年3月から2026年7月まで、一般のお客様のご利用ができなくなっている。リハーサル室の単独利用受付は4か月前からであるが、前述のように定期利用者が多く、できるだけ早く情報をお伝えする必要があった。その為岡崎市と協議し、定期的に利用して下さっているお客様を対象に報道発表前の2024年8月の調整会議にて休室情報を共有した。その結果、早めに他の施設を借りるために動くことができて良かったとお声をいただくことができた。このようにシビックセンターでは、施設とお客様との信頼関係を重視し運営している。今後も利用者と誠実に向き合い、シビックセンターファンを増やし利用料収入を確保していく。

### 3 収支状況

#### (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	委託料収入	精算を伴うもの伴わないもの合算	248,774,460
	利用料金収入		11,285,468
	事業収入	コンサートホール事業 交流広場事業	12,878,197
	その他収入	預かりチケット手数料 公衆電話、コピー代等	3,344,772
収入 計			276,282,897
支 出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、事務費 手数料、修繕費、清掃等委託料 保険料等	235,240,185
	(うち修繕費)		10,717,779
	(うち光熱水費)		37,685,681
	事業費	直接事業に係る経費	29,907,379
	その他	本部経費、租税公課、 退職給与引当金	10,372,140
支出 計			275,519,704
差 引			763,193

## **(2) 収支状況に対する自己評価**

大規模改修による貸出休止前の需要を喚起すべく積極的な営業活動に取り組んだことで利用料金収入は過去最高を記録し、予比102%を達成。事業収入は、話題性ある公演を核としたラインナップにより8公演中7公演が完売し予比129%を達成。支出については昨年に引き続き収入状況を鑑みて適切に執行した。

精算事業についても以下のとおり、修繕費・水光熱費とも適切な管理を行った。

### **修繕費**

修繕箇所発生時には、共同事業体内で優先度及び工事スケジュール、費用を基に協議を実施した上で岡崎市文化振興課に提案し、計画的に執行した。

### **水光熱費**

エネルギーの使用量は、夜間利用のない日の省エネ対応（夜間施錠）等を行うなどの対策を実施し、年間を通して適切に管理を行った。今年度の貸館は1月からホール、3月からリハーサル室がそれぞれ利用中止となったが、4月～12月の稼働が高かったことにより、エネルギーの使用量は前年度と比較すると電気101%、ガス111%、水道96%とほぼ横ばいであった。なお、使用料金（電気・ガス・水道計）は、政府による補助金があった昨年と比べて106%であった。引き続き、施設の安全で快適な環境維持と省エネルギーを両立した適正な運転に努める。

## 4 調査結果（アンケート等）

### （1）実施概要

#### ■音楽公演 来場者アンケート

公演日	開演時間	公演名	鑑賞者	回収数	回収率
4月21日(日)	15:00	エキサイティングステージ 沖仁×大萩康司×小沼ようすけ TRES	402	138	34%
5月25日(土)	15:00	プレミアムコンサートシリーズ 林美智子&横山幸雄 デュオ・リサイタル	278	152	55%
6月9日(日)	15:00	クローズアップおかざき アンサンブル天下統一2024	403	176	44%
6月30日(日)	15:00	プレミアムコンサートシリーズ ダン・タイ・ソン ピアノ・リサイタル	406	196	48%
8月25日(日)	15:00	こどものためのシリーズ 音楽の絵本 ダンディズム	409	47	11%
10月14日(月)	15:00	コロネット ベスト・クラシック 牛田智大 室内楽プロジェクト 「六重奏で聴くショパン・ピアノ協奏曲」	400	202	51%
11月16日(土)	15:00	コロネット ベスト・クラシック 上野耕平 & 阪田知樹 デュオ・リサイタル	386	177	46%
12月8日(日)	15:00	クローズアップおかざき アンサンブル天下統一 ゴルトベルク変奏曲	381	157	41%

### （2）アンケート結果概要

#### 音楽公演 来場者アンケート

本年度の来場者アンケートは上記8公演を対象に、公演来場者の特性、満足度、ニーズの把握を目的に実施、「令和6年度 来館者調査報告書」にてまとめている。収集情報をもとに振り返りを行い、来場者ニーズの企画への反映および、来場者サービス向上を目指した。調査結果の概要は以下の通り。

#### 鑑賞者の年代構成

鑑賞者の年代は、60代が30.8%、70代以上が33.4%で、全体の64.2%だった。50代以上の方が全体の8割以上を占める傾向は昨年同様だが、40代が昨年より2.7%増の7.9%、50代が昨年より3.5%増の20.0%となっており、子育てが一段落し時間に余裕ができた世代の方の来場が増えていることが分かる。

### **鑑賞者の居住地**

鑑賞者の居住地は「岡崎市内」が最も高く63.3%、次いで「愛知県（その他）」が15.4%、「その他」が7.9%と続く。県内からの来館者が全体の9割以上を占めており、この傾向は昨年、一昨年と比較しても同様である。

### **友の会の入会有無・会員内容**

来場者の会員比率は、会員が55.3%、非会員が44.7%となった。昨年度に続き会員の比率は5割を超えており、数値は昨年度よりも2.9ポイントアップしている。

会員の内訳は「クラシック会員（有料）」が43.3%、「ベーシック会員（無料）」が47.1%で、クラシック会員の比率が昨年に比べて4.3ポイントアップした。

### **会員内容と鑑賞者の特性**

友の会の加入状況と年代の関連性をみると、昨年に引き続き会員の割合が最も高いのが60代であった。また、50代以上は全て会員の割合が過半数を超える結果となった。ただし、入会者数の割合は20代～30代と50代以上の数値が昨年度より増加しており、幅広い年代の会員を獲得できていることがわかる。

友の会入会有無と居住地では、会員の割合が高いのは「岡崎市内」58.5%、「安城市」58.2%、「幸田町」57.7%であるが、「県内（その他）」からの来場者の51.6%、県外の居住地の方も47.4%が会員と会員率が比較的に高いことから、近隣の市町だけでなく市外の居住者も会員として獲得できていることがわかる。

### **鑑賞理由と鑑賞者の特性**

鑑賞の理由と鑑賞者の特性（年代、居住地、会員内容）の関連性をみると、10代以上の方が公演の鑑賞を決めた理由は「出演者がよかったから」が最も高い。30代以上は「好きなジャンルだから」が鑑賞の決め手の二番目に高いのに対して、10代20代は「家族・知人・友人に誘われたから」を鑑賞の決め手の二番目になっている。10代20代にとってコンサートは一人で楽しむものというよりは、「好きなジャンル」や「好きな出演者」を共有できる友人知人と一緒に楽しむものであることが推測できる結果となった。また、30代40代は子育て世代ということもあり、鑑賞を決めた理由に「子どもと一緒に参加できたから」や「家族・知人・友人と楽しめたかったから（誘った）」を選ぶ方が多い。

どのエリアに居住している方も一番の理由は「出演者がよかったから」を挙げ、「好きなジャンルだから」「プログラムがよかったから」が上位を占める結果となった。

また会員内容と鑑賞理由の関連性をみると、クラシック会員（有料）ではベーシック会員（無料）と比較して「近かったから」「家族・知人・友人と楽しめたかったから（誘った）」の割合が高く、自身にとってホールが身近な存在であるという意識を持っていただけということがうかがえる。

### **関心のあるジャンル**

今後聴きたい／観たいジャンルの上位2ジャンルは「クラシック」88.6%、「ジャズ」29.8%となっており、例年同様の結果となったが、「演劇・ミュージカル」

は全ての年代で昨年よりポイントが下がった。これは、ホールの特性をお客様も理解してきていることの現れであると推測できる。「クラシック」の中では「ピアノ」が56.7%で最も高いが、「室内楽」47.1%、「弦楽器」42.1%と続き、いずれも高いニーズがある。特に「室内楽」は10代から70代以上までが、「弦楽器」は10歳未満と30代を除く全ての年代が昨年度の数値を越えたことから、ホールの特性を活かす事業を実施することをお客様も希望していることがうかがえる結果となった。

### **公演の満足度**

企画の満足度（「とても満足」＋「満足」）は97.9%と高い評価を得ることが出来、昨年度より0.8ポイントアップした。企画内容に対しては「素晴らしい演奏会の企画を立ててくださりありがとうございます。」「いつもすばらしい企画をありがとうございます。休館中のコンサートも頑張ってください。」など、これまでの取り組みを評価する声や、ホール休館中も良質な公演の開催を望む声が寄せられた。また、「響きの良いホールですね。席も割にゆったりして心地よい。演奏者との距離も近くて臨場感たっぷり。贅沢な気分を味わうことができました。」「弦の音が天上に昇っていくような響きで、とても気に入っています。」など、ホールの響きや施設に対する好意的な評価も数多くいただいた。「(スタッフの)対応が親切で、遠くから足を運んでも満足です。」等のスタッフに対するお褒めの言葉も見られ、お客様からの期待に応える良質な音楽企画と、サービスの行き届いたホール運営が、来場者の高い満足度を得ていることがうかがえる。

### **利用者アンケート**

施設の貸出し業務に関する利用者の満足度やニーズを把握することを目的に、今年度もコンサートホール、リハーサル室、集会室の利用者を対象に1年間アンケートを実施し、193件回収した。アンケートに記載されたコメントについては、回収時に確認し、改善に取り組んだ。

施設利用者の年代は例年同様40代～50代が最も多く、利用者全体の47.8%と半分以上を占めた。また70代以上の利用が前年度7.2%であったのに対し今年は13.2%と6ポイント増加した。

住まいも例年通り、岡崎市内が6割以上を占め、名古屋市やその他愛知県在住も24.4%を占めた。また来館手段も昨年と同じくマイカーが圧倒的に多く全体の75.1%、また電車やバスなどの公共交通機関での来館も15.7%であった。車でも公共交通機関でも来館しやすい当館の強みが現れた結果となった。

初めて利用された方に対しての当館情報の入手経路についての設問では、岡崎市やシビックセンターのホームページを見て知ったという回答が42.9%であった。ホームページは2025年に改修を予定しており、スマートフォン対応のサイトも作成予定である。利用者が欲しい情報を的確に手に入れられるサイトにリニューアルできるようプロジェクトチームで進めていく。

シビックセンターを選んだ理由では、「無料駐車場がある」が全体の20.9%を占め、車で移動することの多い地域では施設に駐車場があることが施設選びの必須条件で

あることが分かる。次に多かった回答は「設備や機器が充実」で、16.8%であった。コンサートホールの響きの良さや、ピアノなどを気に入っていただいているお客様が多いことが分かる。なお、3番目に多い回答は「スタッフの対応が良い」で、15.6%であった。一般的にこういった施設を利用する場合、駐車場があるか、どのような設備があるか等のハード面を比較し選択するが、当館を実際に利用してみて、当初期待していたハード面の良さだけでなく、スタッフの対応といったソフト面の良さにも満足していただきリピーターに繋がっているのだということが分かる。

予約方法及び貸出方法に関しては「現状で良い」「概ね良い」を合わせて85%と、例年同様に高い数値を維持することができている。昨年、ご意見をいただいた「本番料金と舞台練習料金の違いをはっきり明記して欲しい」と意見を受け、各料金で利用可能箇所を施設利用案内に図示し、説明に努めるようにした。判断基準が利用者様からの利用内容の申告ベースではなく、利用箇所で明確に区分けしたことによって、多くのお客様に申告制より分かりやすく、公平であるとご納得いただくことができた。

今後も利用したいと思うかという問いに対しては、98.9%の利用者に「そう思う」と回答していただき、フリーコメント欄には、改修期間について「使用できない期間が長くて残念」や「リニューアル後を楽しみにしている」といったお声を多くいただいた。改修工事を経て、なお一層利用者にとって親切で使いやすく、また市民のための公共施設として公平公正な貸出を今後も続けていけるよう努めていく。

## シビコロ会員調査

現会員制度の満足度と既存会員のニーズを把握し、会員サービスの向上につなげるためシビコロ会員2,405名の内、ダイレクトメール郵送可の会員898名を対象にアンケートを実施した。アンケートの実施方法はクラシック会員へは郵送もしくはWEBでの回答を依頼し、ベーシック会員はWEBのみで回答を依頼した。クラシック会員とベーシック会員で設問を分け、それぞれの満足度とニーズを探った。

回答率は前回調査ではクラシック会員で35.6%であったのに対し、今回は51.8%と16.2%増加した。またベーシック会員は前回調査で9.2%であったが今回は24.1%と14.9%増加した。この結果は、会員がシビックセンターの活動や公演内容に対して一層の関心と信頼を寄せていることを示している。私たちの取り組みが会員の皆様に評価され、より多くの方々が積極的に意見を共有してくださることは、大変喜ばしいと感じる。今後も会員の期待に応えられるよう、さらなる改善と充実を図っていききたい。

クラシック会員の入会理由として、令和4年度の調査では約4割の会員が鑑賞したい公演が多いと回答していたが、今回の調査では23.5%に留まった。一方、確実にチケットを手に入れたいからと回答した会員は令和4年度では75%であったのに対し、令和6年度では87.3%と12.3ポイント上昇した。令和4年からホールの特性を活かした公演でありながらも、ジャンルの幅を拡げ、且つ知名度の高いアーティストと当方がお勧めしたい公演のバランスをとったラインナップになるよう重点を置いて設定してきた。「確実にチケットを手に入れたいから」のアンケート結果の比重が大きく

増えたことは、「鑑賞したい公演」が増えている結果とも読める。今後は聴いていただきたい公演を、より多く鑑賞したいと思ってもらえるような工夫を凝らしていきたい。

一方ベーシック会員の方がクラシック会員に入会しない理由は、「年会費がかかるから」と「ベーシック会員の先行予約で満足しているから」が46.2%と同率であり、クラシック会員の認知はあるものの入会には至っていない。令和6年度、ベーシック会員のチケット先行予約は一般発売の1週間前ではなく、3時間前に変更したが、それでもクラシック会員と同じく先行予約ができ、情報誌も無料で郵送してもらえるため、会費の元が取れる以上にチケットを購入する人以外はベーシック会員で十分だと感じていると言える。会費2,000円のクラシック会員が、特典の一つであるチケット割引で、単純に会費の元を取るためのものではなく、コロネットでの音楽体験をより豊かにするためのものとして認知していただけるよう、会員イベントの充実や、一つでも多く「この公演に必ず来たい」と思ってもらえるような仕掛けづくりを引き続き実施し、会員の満足度向上を図っていきたい。

## 5 その他自己評価

### (1) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者アンケートを通じたニーズ把握のほか、受付窓口においても施設利用の問い合わせ時のお客様とのコミュニケーションを大切にしたい。いただいた声は優先順位をつけ改善に取り組んだ。主な改善内容は、貸出用パネルの更新とリハーサル室第2の機の追加購入。これまで使用していた貸出用パネルは組み立て時に転倒の恐れがあったため、キャスター付きのものに更新しお客様が安全に利用できるようにした。またリハーサル室第2の会議利用の需要に応えるため、机を追加購入し16名までの会議利用ができるようにした。

キャッシュレス決済についても導入に向けて調査・検討を進め、所管課との協議を経てAirペイ導入を決定した。令和7年4月からの稼働に向けて社内調整、マニュアル作成、事務所スタッフの機器操作習得などを年度内に完了した。

### (2) 苦情対応等に対する自己評価

本年度も継続して日々の「安心安全な運営」と、ご指摘発生時には「迅速かつ誠実な対応」を心がけた。ご指摘内容は速やかに岡崎市に報告すると共に、必要に応じて協議を行い改善に繋げた。日々のお客様対応をマネージャーが日報も活用しながら把握し、ご指摘対応のみならず、意見や要望にも可能な限り対応した。

### (3) その他

#### 人材育成

本年度も指定管理の安定運営とサービス向上を目指し職員の人材育成に取り組んだ。JVの合同研修のほか、共同事業体各社においても実務及びサービス・マナー向上に向けて計画的な人材育成を実施した。

JV共通のものとしては、前年度に作成したBCP（震災編・新型インフルエンザ編・洪水集中豪雨編）に改訂を加え、有事の際の各セクションの動きを具体的に落とし込んだ

個別マニュアルも作成した。

各社独自の研修においては集合研修のみならず個別の施設視察の他、オンラインを活用した研修やeラーニングも積極的に取り入れて実施した。

今後も各業務の専門性を高める研修を継続し各部門の安定運営を図り、シビックセンター全体のスキルアップを目指したい。

### **消防訓練、防災関連事業の実施**

消防計画のとおり、本年も年2回の消防訓練を実施した。10月には合同庁舎とシビックセンターの合同で実施。3月はテナントも含めたシビックセンター全体での訓練を行い、屋内消火栓の使用方法に関する訓練を行った。

9月には防災関連事業として「コロネット防災コンサート」を実施した。市防災課職員による防災講座を通して水害への防災意識を高めていただくとともに、愛知県警察音楽隊のコンサートもお楽しみいただいた。

### **感染症に対する対応**

シビックセンターにはご高齢の方を含む多様な利用者が来館するため、安心して施設を利用していただけるよう、引き続き感染症対策に取り組んだ。施設・設備の清掃を徹底するとともに、コンサート開催時は入場者数に応じた運営方法の変更や換気等にも配慮した。また職員は不特定多数の来場者と接することからマスクの着用を継続した。

以上